市立函館博物館館報サラニップ

SARANIP

No.51 2012.3.31

- 収蔵資料紹介-

サシバ

(受入番号: H04-169)



サシバ剥製 (受入番号: H04-169)



礼文町船泊で捕獲されたサシバ(富川 徹氏提供)



礼文町大沢川を飛翔中のサシバ(富川 徹氏提供)

ある秋の日、伊良湖岬や佐多岬などの半島に突き出た本州の代表的な岬の上空を、多くの猛禽類が群れをつくり、ゆっくり旋回を繰り返しながら海に向って南下して行きます。その群れの代表格がタカ目タカ科のサシバ Butastur indicus (英名: Gray-faced Buzzard-eagle) と呼ばれる猛禽類です。

実は、サシバは本州で繁殖しており、非常に馴染みのある身近な猛禽類ですが、北海道では馴染みがありません。そのサシバの標本が、何故か当館にあり、しかも、「ツミ 函館市(60.9.5)」と書かれたラベルが止まり木の台に貼り付けられています。昭和 60 年 9 月 5 日に函館市内で保護・死亡した個体であり、渡島支庁(現渡島総合振興局)から寄贈されたものです。喉には黒い一筋の太い縦縞があり、一見してサシバとわかるものです。しかし、ラベルの記載は、当初ツミ(タカ目タカ科)Accipiter gularis gularis (英名: Japanese Sparrowhawk)に似ているとして、ツミと判断したようです。サシバは全長(くちばしの先から尾羽の先までをまっすぐに伸ばした長さ)が 50 cmで、翼開張(左右の翼をまっすぐに広げたときの翼の先から先までの長さ)が $102.5 \sim 115$ cmです。ツミは、全長と翼開張は $32.5 \sim 115$ cmです。ツミは、全長と翼開張は $32.5 \sim 115$ cmです。ツミは、全人と翼開張は $32.5 \sim 115$ cmです。ツミは、全人と翼開張は $32.5 \sim 115$ cmで、年の方が大型ですが、それでもサシバより小型です。当館の標本は $32.5 \sim 115$ cmで、年の方が大型ですが、それでもサシバより小型です。当館の標本は $33.5 \sim 115$ cmで、年の方が大型ですが、それでもサシバより小型です。当館の標本は $33.5 \sim 115$ cmで、年の方が大型ですが、それでもサシバより小型です。当館の標本は $35.5 \sim 115$ cmで、日本間と折れて無くなっているため、ほぼサシバサイズと言えます。吉井正(2005)の『世界鳥名事典』には「日本では山形県以南の本州から九州まで低山帯の森林で繁殖する夏鳥」と書かれており、北海道での分布は示されていません。藤巻裕蔵(1998)の『北海道鳥類目録』にはサシバの記載はありません。日本鳥学会(2000)の『日本鳥類目録』改訂版第 $35.5 \sim 115$ cmで、本種は北海道で観察されたことがありませんでした。このことが、サシバをツミと見誤らせたと思われます。

しかし、2005年の礼文島での観察記録から、藤巻裕蔵(2010)の『北海道鳥類目録』改訂3版に初めてサシバの分布が記載されるようになりました。とは言え、当該資料は、北海道における本種の初記録を示す貴重な資料であることに変わりはありません。 (佐藤 理夫)

- 収集・収蔵-

収蔵資料概数一覧

※平成23年3月31日現在

分 類	件 数	点 数
地質鉱物	20件	2,000点
植物	10,100件	10,300点
動物	7,800件	21,300点
考古	9,800件	578,200点
歴史	4,200件	18,300点
民俗	6,200件	32,600点
民族	11,200件	12,800点
美術工芸	2,800件	3,900点
合 計	52,120件	679,400点

※一括は1件として計算し、点数には含めていません。 ※100以上は2桁の端数部分を切り下げ表示し、100未 満は1桁の端数部分を切り下げ表示しているため、実 際の数値よりは少なく表示しています。

平成23年新収蔵資料

※平成23年1月1日~12月31日受入分

風呂敷(北海道共同株式会社稟告文染め抜き) 1件1点

【三重県:志村 圭志郎 氏 寄贈】

脚絆 1件4点

【埼玉県:弥富 静江 氏 寄贈】

晚秋 赤沢白翠画 1件1点

【函館市:戸沼岩崎建設株式会社 寄贈】

佐藤守誠沐浴謹書「明治天皇肉筆御尊像」他 2件4点

【函館市:山崎 法子氏 寄贈】

はさみ尺 1件1点

【森町:小玉 健氏寄贈】

ウイルタ土産物(皮製首飾り)他 2件4点

【白老町:澗潟 洋子 氏 寄贈】

屏風(六曲一双)他 11件13点

【函館市:秋保 栄氏 寄贈】

『見晴町B遺跡発掘調査報告書』他 150件151点

【函館市:菅野 文二氏 寄贈】

夜の教会 梁川剛一画他 2件2点

【函館市:本間 新氏寄贈】

英吉利國條約並稅則他 4件4点

【石狩市:井戸 章博 氏 寄贈】

手フード他 5件5点

【函館市:間瀬 ヤエ氏 寄贈】

津軽亀ヶ岡焼 6件9点

【青森県:津軽亀ヶ岡焼窯元しきろ庵 一戸 広臣氏 寄贈】 レコード 1件19点

【函館市:富永 隆一氏 寄贈】

子供用振袖(羽織・着物) 1件2点

【函館市:東 恵子氏 寄贈】

カワセミ

1件1点

【函館市:北海道渡島総合振興局長 永井 正博 氏 寄贈】 刺繍台他 4件6点

【函館市:古野 柳太郎 氏 寄贈】

巡洋艦新高遭難慰霊碑碑文

1件1点

【函館市:本間 新氏 寄贈】

幟「和親奉公|

1件1点

【函館市:吉岡 宏氏 寄贈】

特別史跡五稜郭跡出土遺物

11件239点

【函館市教育委員会生涯学習部文化財課 移管】

その他寄附等

※平成23年1月1日~12月31日受入分

洋式便器 (設置工事含む)

2 基

【市立函館博物館友の会寄贈】

美術品収蔵庫建設資金

4,000,000円

【東京都:岩田 治子氏寄附】



岩田治子氏へ工藤市長から感謝状の贈呈

資料燻蒸

平成 23 年 10 月 1 日 (土) ~ 3 日 (月) (博物館史・自然・歴史・民俗・美術資料) 平成 23 年 11 月 17 日 (木) ~ 19 日 (土) (民族資料)

博物館実習生受入

平成 23 年 9 月 25 日(日)~ 10 月 18 日(火) 京都学園大学 1 名 北海道教育大学教育学部函館校 7 名

- 普及(展覧会)-

平成23年度展覧会開催状況

月		4月		5月		6月	7月	8月	9月		10月			12月	1月	2月	3月
日	4/1 ~17	4/19 ~28		4/29~ 6/3	6/4 ~5	6/7~ 7/10	7/12 ~22	7/23~ 9/11	9/13 ~14	9/15 ~25	9/27~ 10/16	10/18~ 11/20	11/22~ 12/4		12/6~ 2/23		2/25~ 3/31
ロビー	前年度ロビー展		IJ-	ロビー展 月人形と鯉のぼ - 函館歳時記-」 旦当: 佐藤(智)	展示替え	企画展 「100年前の 函館」 担当:佐藤(智)		南北海道博物館情報 コーナー 担当:野村・大矢	R			ロビー展 「亀ヶ岡焼ーー 戸広臣の世界ー 担当:大矢		南北海	頭道博物館情報: 担当:野村・大タ		ロビー展 「志海苔古銭」展 担当:野村
第 1 展示室		展示		常設 「はこだで 一大昔から到 担当:保利	ての歴史 現代まで-」 科・大矢		展示	常設展 「はこだての歴史 一大昔から現代までー 担当:野村・保科	.1				۲ut z		常設展 史-大昔から現 当:野村・保科	!代まで-」	
第 2 展示室	前年度常設展	替え		常設 「函館の自: 担当:佐藤			替え	第六十二回式年遷宮記: 特別展		展示替え 博物館実習 資料燻蒸					常設展 10年 金子鷗哥 担当:霜村	F)	
第3		「伊勢神宮と北海道」 企画展 「幕末の動乱と蝦夷地への道								常設展 開港と箱館戦争 担当:保科	١,						
展示室				ー描かれた 担当:佐藤	箱館(智)・	戦争」		「新収蔵資料展」展示替え 「当館博物学コレクショ				常設展 ョンー海の :佐藤(理)	0生きもの編-」				
日	4/1 ~17	4/19 ~28		4/2 7/	9~ 10		7/12 ~22	7/23~ 9/11		1	9/13~ 10/16	10/18~ 11/20	11/22~ 12/4			12/6~ 3/31	
月		4月		5月		6月	7月	8月	9月		10月			12月	1月	2月	3月

特別展



名 称	伊勢神宮と北海道
期間	平成23年7月23日(土) ~9月11日(日)
開館日数	51日間中44日
特別協力	神宮司廳
出品協力	神宮徴古館 他計8機関
後援	神社本庁 他 計13機関
出品資料	玉纏御太刀 他 計277点
観覧者数	3,112名
関連事業	講演会「伊勢の神宮 と天照大神」 展示解説セミナー
担当	佐藤(理)・保科

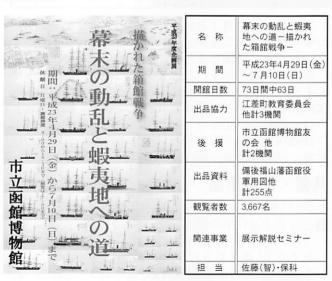


開会式のテープカットの様子

今年度は社団法人霞会館・北海道開拓記念館・市立 函館博物館共催による、伊勢神宮や伊勢信仰と北海道 の関わりを紹介する特別展を開催しました。

第一章「御装束神宝と歴史」では、昭和9年に調進された御太刀や遷宮の様子を描いた絵巻物などを紹介しました。第二章「自然と神事」では、江戸期の神宮の古地図や神嘗祭に関する資料などを紹介しました。第三章「北海道と伊勢信仰」では、蝦夷地へ伊勢信仰を広める役割を果たした御師三日市大夫次郎に関する資料や、北海道からのお伊勢参りに関する資料を紹介しました。

企画展



今年の企画展では、戊辰戦争最後の戦いとなった箱 館戦争を取り上げ、旧幕府脱走軍の箱館進攻から、翌 年の新政府軍の箱館総攻撃などに焦点をあて、紹介しました。今回は箱館戦争を描いた絵図や錦絵、箱館戦争に参加した人たちがその心境を詠んだ詩書などを展示しました。特に新撰組ファン必見の「戦友姿絵」は、巻頭から巻末まで全場面を見ていただきました。巻子仕立ての絵図類も、なるべく多くの場面を紹介しました。



開陽丸関連資料を前にした展示解説

ロビー展



平成23年10月1日に函館市縄文文化交流センターがオープンしたことを記念して、縄文文化とまちづくりをテーマに開催しました。

第1部「掘り出された縄文文化」では、函館でも出土する縄文晩期の亀ヶ岡式土器と、その学史に関する文献資料を展示し、第2部「現代に息づく縄文文化」では、青森県つがる市で亀ヶ岡式土器をモチーフにした作品作りを行っている現代陶芸家、一戸広臣氏の津軽亀ヶ岡焼を展示・紹介しました。

共催・協力事業

※平成23年1月1日~12月31日開催分

- ■北海道立近代美術館主催 「浮世絵細見 いきな女の江戸ぐらし」 ※平成23年2月5日(土)~3月13日(日) 本館所蔵「杉野家旧蔵雛人形」他 計19点貸出・展 示協力
- ■函館市仏教会主催

「函館大火殉難者 78 回忌慰霊法要」 ※平成 23 年 3 月 21 日(月)

本館所蔵「函館大火パネル」 12 点貸出

■函館市教育委員会主催

「函館空港ギャラリー常設展示 函館縄文遺跡探訪 - 函館空港遺跡群と北の縄文文化-」

※平成23年4月1日(金)~平成24年3月31日(土) 本館所蔵「伊藤コレクション」他 計28点貸出

- ■北海道開拓記念館・(財) 霞会館主催 第 67 回特別展「伊勢神宮と北海道」 ※平成 23 年 6 月 3 日(金)~7月 10 日(日)
- 本館所蔵「奥州箱館之図」貸出 ■蘭越町貝の館主催
 - 特別企画展「北の貝」 ※平成23年7月23日(土)~8月28日(日) 本館所蔵「高川金次貝類コレクション」41点貸出
- ■新ひだか町静内郷土館主催 企画展「アイヌ植物歳時記」 ※平成23年7月26日(火)~9月25日(日) 本館所蔵「樹皮衣」1点・本館寄託資料「草皮衣」 1点貸出
- ■石崎八幡神社主催 「石崎八幡神社例大祭|

※平成23年8月14日(日)~8月15日(月)

本館寄託資料「石崎八幡神社の鰐口」貸出・展示協力

■函館市北方民族資料館主催 企画展「渡島半島のアイヌ民族資料-椎久家旧蔵資 料展-」

※平成 23 年 9 月 10 日 (土) ~ 11 月 13 日 (日)

本館所蔵「色裂置文衣」他 計 76 点企画·展示協力 ■函館市教育委員会

函館市縄文文化交流センター常設展示 ※平成23年10月1日(土)~12月8日(木)

本館所蔵「日吉遺跡出土ヒスイ玉」他 計8点貸出

■八戸市教育委員会主催 是川縄文館開館記念特別展「縄文至宝展」 ※平成23年10月15日(土)~11月16日(日) 本館所蔵「動物土偶」他 計2点貸出

- ■(財)アイヌ民族博物館主催 特別企画展「男の手業-マキリと煙草入れ-」 ※平成23年11月13日(日)~平成24年1月15日(日) 本館所蔵「小刀」 計16点貸出
- ■韓国国立民俗博物館主催 特別展「Mediator between heaven and earth-Shaman」 ※平成23年11月29日(火)~平成24年2月27日(月) 本館所蔵「捧酒箸」他 計65点貸出・展示協力

資料利用(掲載等)許可

※平成23年1月1日~12月31日許可分

■博物館史	(「開拓使函館仮博物場」)	1件
■自然資料	(「アサギマダラ」)	1件
■考古資料	(「恵山貝塚出土資料」等)	23 件
■歴史資料	(「箱館大戦争図」等)	47件
■民俗資料	(「ストーブ」等)	2件
■民族資料	(「蝦夷錦」等)	15件
■美術資料	(「函館市観光ポスター」等)	4件

- 普及(講座)-

平成23年度 講座開催実績

【ワークショップ(通年講座)】

	.,,,,	ンプ (処十時/生/		
No.	講 座 名	開催期間	15 A1	応募/募集
1	自然観察入門講座 一自然の物知り博士をめざそう一	4/17(日)~3/4(日) 年10回	佐藤	7 / 20
2	古文書調査	4/5(火)~3/15(木) 年26回	保料	5 / 5
3	四季の星空観測講座 一函館・四季の夜空観測一	5/27(金)~1/20(金) 年4回	佐藤	18 / 20
	【単	講座】	2	1 30 / 45
No.	講 座 名	開催期間	講館	応募/募集
1	Jr. 考古学ハカセ養成講座1 「鹿角で釣り針を作ろう」	5/5 (木) 13:30~16:00	大矢	18 / 18
2	132年前にタイムスリップ! 「博物館旧一号館公開」	5/25(7k) 10:00~15:00	-	333 / -
3	宇宙と天体シリーズ 「春の星座を見てみよう」	5/27(金) 18:30~20:30	佐藤	7 / 16
4	地域の身近な自然を調べる 「浜辺の漂着物を調べよう」	6/12(日) 9:30~12:00	佐藤	8 / 16
5	親子で学ぶ 「不思議な石 石灰石」	6/25(土) 13:30~16:00	佐藤	6 / 20
6	宇宙と天体シリーズ 「夏の星座を見てみよう」	7/1(金) 19:00~20:30	佐藤	18 / 18
7	親子で作る 「ベタベタアート」	7/24(日) 13:30~15:00	霜村	11 / 15
8	夏休み自由研究 「鉄道車両の仕組みとJR 見学会」	7/27(水) 10:00~12:00	外部講師 佐藤	37 / 40
9	わくわく科学教室 「ドライアイスで遊ぼう」	7/28(木) 13:30~16:00	佐藤	31 / 31
10	わくわく科学教室 親子で「なき砂を作ろう」 ーシリカゲルって何ー	7/29(金) 13:30~16:00	外部講師 佐藤	14 / 20
11	Jr. 考古学ハカセ養成講座 2 「黒曜石で矢じりを作ろう」	7/31(日) 13:30~16:00	外部講師 大矢	15 / 16

No.	講 座 名	開催期間	EM ÉT	応募/募集
12	講演会 「伊勢の神宮と天照大神」	8/6(土) 13:30~15:30	外部講師	104 / 104
13	Jr. 考古学ハカセ養成講座3 「縄文の宝-勾玉-を作る」	8/7(日) 13:30~16:00	大矢	15 / 15
14	夏休み自由研究 「手作りおもちゃを作ろう」	8/9(火) 13:30~16:00	当館学芸員	13 / 15
15	夏休み自由研究 「昔の道具を調べよう	8/10(7k) 14:00~15:30	保科	13 / 20
16	J r . 考古学ハカセ養成講座 4 「縄文土器づくり」	9/11(日) 9:00~16:30	大矢	10 / 15
17	バスツアー 「縄文文化交流センターへ 国宝を見に行こう!」	10/30(日) 9:00~16:30	外部講師 大矢·野村	18 / 40
18	わくわく科学教室 親子で「イカを科学する」	11/12(土) 13:30~16:00	佐藤	5 / 16
19	冬休み自由研究 「さし絵に挑戦!」 (文学館と共催)	1/13(金) 13:00~16:00	霜村	26 / 30
20	Jr. 考古学ハカセ養成講座 5 「縄文の布-あんぎん編み-で コースターを作ろう」	1/14(土) 13:30~16:00	外部講師 大矢	6 / 15

【展示解説セミナー】

計 709/480名

No.	講 座 名	野 保証 X月 [10]	2萬 6市	応募/募集
1	展示解説セミナー 「幕末の動乱と蝦夷地への道」	5/3(火) 13:30~15:00	佐藤(智)	24 / 30
2	展示解説セミナー 「伊勢神宮と北海道」	7/30(土) 13:30~15:30	外部講師 保科	39 / 39
3	展示解説セミナー 「新収蔵資料展」	10/18(火) 13:30~15:00	博物館実習生	6 / 30
4	展示解説セミナー 「やきものあれこれ」	10/23(日) 13:30~15:00	外部講師大矢	20 / 20

計 89/119名

協力機関等

JR北海道函館運輸所、富士シリシア化学株式会社、今 金町教育委員会、皇學館大学、社団法人霞会館、函館市 縄文文化交流センター、北の縄文CLUB、一戸広臣氏

出前講座等

※平成23年1月1日~12月31日開催

■自然分野	(野鳥観察などに関するもの)	2件
■考古分野	(縄文文化などに関するもの)	3件
■歴史分野	(箱館奉行所などに関するもの)	9件
■民族分野	(アイヌ民族などに関するもの)	3件
■美術分野	(観光ポスターなどに関するもの)	1件
■その他	(プレゼン方法などに関するもの)	1 件



大船遺跡の復元竪穴住居内を見学するバスツアー参加者

- 調査・研究 -

調查事業

- ■アイヌ民族資料調査研究 (大矢・児玉)
- ■民俗資料基礎調査(保科・大矢)
- ■梁川剛一資料整備 (霜村)

研究論文等

※平成23年4月1日~12月31日掲載分

■保科智治(2011) 「お伊勢参りにいってみませんか」『タウン誌街』 531 pp.44-45 タウン誌「街」編集部;函館市

- ■保科智治(2011)「北海道からのお伊勢参り」『第六十二回式年遷宮記念特別展伊勢神宮と北海道』pp. 130-134 社団法人霞会館;東京
- ■野村祐一 (2011) 「水の土木遺構 五稜郭」 『みずのわ』 142 pp. 26 27 "みずのわ" 発行委員会; 埼玉県
- ■大矢京右(2011)「一戸広臣氏と津軽亀ヶ岡焼ー現代に息づく縄文文化ー」『タウン誌街』 532 pp. 44 45 タウン誌「街」編集部;函館市
- ■野村祐一(2011)「五稜郭・箱館奉行所と縄文文化 交流センター」『道博協ニュース』 103 p. 2 北海道博 物館協会;札幌市
- ■保科智治(2011)「在箱館初代ロシア領事「ゴシケーヴィチ」」『函館ハリストス正教会史』pp. 296 297 函館ハリストス正教会; 函館市
- ■佐藤理夫 (2011) 「プラントハンター「須川長之助」」 『函館ハリストス正教会史』pp. 302 - 306 函館ハリストス正教会;函館市
- ■大矢京右(2011)「函館ハリストス正教会ゆかりの 人々」『函館ハリストス正教会史』pp.318-320函館 ハリストス正教会;函館市

研究発表等

※平成23年1月1日~12月31日発表分

- ■保科智治(2011)「箱館奉行所と奉行所の歴史的役割」道南ブロック博物館施設等連絡協議会郷土学講座「道南の歴史を知るー幕末から明治初期-」;函館市
- ■大矢京右(2011)「市立函館博物館所蔵八雲関連アイヌ資料」2011年度北海道民族学会第2回研究会; 函館市

資料保存修理事業

平成15年に本館所蔵「北海道志海苔中世遺構出土銭」

(志海苔古銭) が国重要文化財に指定されたことに伴い、平成16~20年度の5ヶ年計画で同資料の保存修理事業が実施され、並行して銭名の確認および再計数などの再整理事業を実施しました。

その結果、従来の93種374,435枚から93種387, 514枚に員数の変更となることが確認されました。



出土銭および甕の展示状況

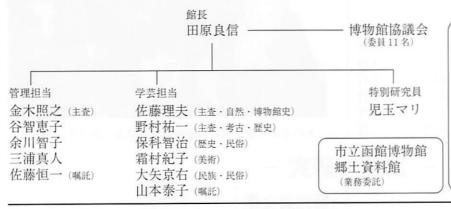
資料調查·取材対応

※平成23年1月1日~ 12月31日許可分

■自然資料	(「高川貝類コレクション」等)	5件
■考古資料	(「能登川コレクション」等)	13件
■歴史資料	(「小島倉太郎関連資料」等)	6件
■民俗資料	(「農具」等)	4件
■民族資料	(「三人乗皮舟」等)	14件
■美術資料	(「蝦夷漁艇」等)	7件
■その他	(展示室風景等)	5件

一組 織一

平成23年度 市立函館博物館機構・職員構成



- 誌名SARANIP(サラニップ) - アイヌ語: 樹皮を編んで作った袋。



SARANIPーサラニップーNo.51

編集·発行 市立函館博物館

₹040-0044

北海道函館市青柳町17-1 (函館公園内)

Tel.0138-23-5480 Fax.0138-23-0831

E-mail:hakohaku@city.hakodate.hokkaido.jp

URL:http://www.city.hakodate.hokkaido.jp/board_of_edu/lifelong_learning/museum/